

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月6日

上場会社名 株式会社ニッポン 上場取引所 東
 コード番号 2001 URL <https://www.nippon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前鶴 俊哉
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 福山 幸一郎 TEL 03-3511-5307
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	101,969	3.4	5,132	△5.8	6,543	△2.1	9,433	110.6
2024年3月期第1四半期	98,631	14.4	5,447	117.8	6,687	74.7	4,479	64.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 15,318百万円 (31.1%) 2024年3月期第1四半期 11,684百万円 (165.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	120.98	105.50
2024年3月期第1四半期	57.47	50.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	399,750	240,586	59.1
2024年3月期	386,692	228,285	58.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 236,334百万円 2024年3月期 224,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	28.00	—	38.00	66.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	33.00	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	205,000	3.0	10,000	△9.4	11,000	△12.3	13,000	53.1	166.73
通期	412,000	2.9	20,500	0.8	22,500	△3.4	24,000	△9.0	307.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	78,824,009株	2024年3月期	78,824,009株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	851,428株	2024年3月期	848,032株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	77,972,600株	2024年3月期1Q	77,939,275株

（注）期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2025年3月期1Q 240,000株）が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2025年3月期1Q 240,000株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	98,631	101,969	3,338	103.4%
営業利益	5,447	5,132	△315	94.2%
経常利益	6,687	6,543	△143	97.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	4,479	9,433	4,954	210.6%

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、インバウンド消費の拡大を中心とした需要の増加、および雇用・所得環境の改善等により緩やかに回復しました。一方で、不安定な国際情勢および金融動向等の景気の回復を妨げる不確定要素、為替相場の歴史的な円安水準に起因した原材料価格およびエネルギー価格の高止まり、物価上昇を受けた消費者の節約志向の強まり等が当社グループの経営環境に及ぼす影響について、注意を払う状況が続きました。

このような状況下、当社グループは経営理念「人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、企業価値の持続的な向上に努めております。

当社では株式会社刀との協業により、マーケティング戦略の見直しと組織改革を実施することで、マーケティング力の向上を図っております。前年度よりオーマイプレミアムブランド（乾燥パスタ・冷凍パスタ）の販売強化に取り組んでおり、これらの取り組みとその成果について、本年6月に開催した「ニッポン×刀 協業発表会」で発表しました。当第1四半期連結累計期間においても、強化したマーケティング組織のもと、より市場を活性化させながら、オーマイプレミアムブランドの販売強化に継続して取り組みました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、インバウンド消費の拡大、各種製造コストの上昇に伴い前年度に実施した価格改定、並びにオーマイプレミアムブランドの販売数量伸長等により、売上高は1,019億6千9百万円（前年同期比103.4%）となりました。利益面では、冷凍食品類を中心とした販売数量の増加、生産性の改善によるコストダウン等が増益に寄与したものの、食品事業の拡売のための戦略コストの増加、並びに各事業の人件費および物流費の増加等により、営業利益は51億3千2百万円（同94.2%）、経常利益は65億4千3百万円（同97.9%）となりました。一方で、遊休地の売却による特別利益の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は94億3千3百万円（同210.6%）となりました。

事業別の状況は次のとおりです。

①製粉事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	31,466	30,623	△843	97.3%
営業利益	2,199	2,314	114	105.2%

製粉事業については、副製品のふすまの販売価格が堅調に推移したものの、小麦粉は昨年10月に外国産小麦の政府売渡価格が引き下げられたことに伴う価格改定の影響により、売上高は306億2千3百万円（前年同期比97.3%）、営業利益は23億1千4百万円（同105.2%）となりました。

なお、外国産小麦の政府売渡価格が本年4月から改定され、また物流費が上昇していることから、本年7月より業務用小麦粉の価格を改定しております。

②食品事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	55,540	58,810	3,270	105.9%
営業利益	2,765	2,209	△555	79.9%

業務用食品については、飲食店を中心にインバウンド消費の拡大による需要の増加が牽引し、売上高は前年を上回りました。

家庭用食品については、マーケティング戦略の強化による「もちっとおいしいスパゲッティ」をはじめとした乾燥パスタの販売数量伸長、並びに各種コストの上昇に伴い2月に実施した価格改定により、売上高は前年を上回りました。

冷凍食品類については、前年度の価格改定に加え、マーケティング戦略の強化による冷凍パスタの販売数量伸長、並びに1食完結型のトレー入り「よくばり」シリーズ、「いまだきごはん」シリーズ等の販売数量が好調に推移したことから、売上高は前年を上回りました。

中食事業については、売上高は前年並みで推移しました。

以上により、食品事業の売上高は588億1千万円（前年同期比105.9%）、営業利益は22億9百万円（同79.9%）となりました。

③その他事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	11,624	12,535	911	107.8%
営業利益	489	601	112	122.9%

ペットフード事業については、高単価商品の販売数量伸長等により、売上高は前年を上回りました。

外食事業については、来客数増加により販売が好調に推移したことから、売上高は前年を上回りました。

以上により、その他事業の売上高は125億3千5百万円（前年同期比107.8%）、営業利益は6億1百万円（同122.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2024年3月期	2024年6月期	増減額
流動資産	157,759	162,813	5,054
固定資産	228,919	236,926	8,007
繰延資産	13	10	△3
資産 合計	386,692	399,750	13,058
流動負債	84,403	82,554	△1,849
固定負債	74,002	76,609	2,606
負債 合計	158,406	159,164	757
純資産	228,285	240,586	12,300
負債・純資産 合計	386,692	399,750	13,058

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ130億5千8百万円増加し、3,997億5千万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が77億8千9百万円、原材料及び貯蔵品が37億8千2百万円、商品及び製品が14億5千7百万円、その他の流動資産が14億2千7百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が7億4千3百万円増加したこと、並びに現金及び預金が23億6千3百万円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7億5千7百万円増加し、1,591億6千4百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が43億8千1百万円、その他の固定負債が31億2千4百万円増加したこと、並びに未払法人税等が44億2千2百万円、その他の流動負債が22億6千9百万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ123億円増加し、2,405億8千6百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が64億5千5百万円、その他有価証券評価差額金が52億7千6百万円、為替換算調整勘定が4億8千4百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降の業績につきましては、2024年5月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想の数値を据え置いております。

また、配当につきましても、当初予想の1株当たり年間66円の予定から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,594	43,230
受取手形、売掛金及び契約資産	60,556	61,300
商品及び製品	23,185	24,642
仕掛品	123	135
原材料及び貯蔵品	20,760	24,543
その他	7,582	9,009
貸倒引当金	△43	△47
流動資産合計	157,759	162,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,383	47,277
機械装置及び運搬具（純額）	22,166	22,502
土地	45,694	45,707
建設仮勘定	5,646	5,705
その他（純額）	3,516	3,560
有形固定資産合計	124,407	124,752
無形固定資産		
のれん	998	951
その他	1,424	1,378
無形固定資産合計	2,423	2,329
投資その他の資産		
投資有価証券	90,618	98,408
その他	11,766	11,723
貸倒引当金	△296	△287
投資その他の資産合計	102,088	109,844
固定資産合計	228,919	236,926
繰延資産	13	10
資産合計	386,692	399,750

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,786	38,168
短期借入金	18,873	19,381
1年内償還予定の社債	128	128
未払法人税等	7,513	3,091
賞与引当金	909	861
その他	23,193	20,924
流動負債合計	84,403	82,554
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	25,020	25,015
長期借入金	17,207	16,823
退職給付に係る負債	3,808	3,723
役員退職慰労引当金	379	310
役員株式給付引当金	73	97
その他	27,513	30,638
固定負債合計	74,002	76,609
負債合計	158,406	159,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,240	12,240
資本剰余金	9,762	9,762
利益剰余金	151,492	157,947
自己株式	△1,317	△1,318
株主資本合計	172,177	178,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,122	51,398
繰延ヘッジ損益	19	77
為替換算調整勘定	3,131	3,616
退職給付に係る調整累計額	2,663	2,609
その他の包括利益累計額合計	51,937	57,701
新株予約権	221	221
非支配株主持分	3,948	4,030
純資産合計	228,285	240,586
負債純資産合計	386,692	399,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	98,631	101,969
売上原価	75,650	77,346
売上総利益	22,980	24,623
販売費及び一般管理費	17,532	19,490
営業利益	5,447	5,132
営業外収益		
受取利息	17	16
受取配当金	1,012	1,113
その他	295	388
営業外収益合計	1,325	1,519
営業外費用		
支払利息	45	53
その他	40	54
営業外費用合計	86	107
経常利益	6,687	6,543
特別利益		
固定資産売却益	36	6,832
投資有価証券売却益	13	78
特別利益合計	49	6,910
特別損失		
固定資産除売却損	44	14
投資有価証券売却損	—	5
関係会社株式売却損	239	—
その他	46	0
特別損失合計	331	19
税金等調整前四半期純利益	6,406	13,434
法人税、住民税及び事業税	1,160	3,006
法人税等調整額	690	879
法人税等合計	1,851	3,886
四半期純利益	4,554	9,548
非支配株主に帰属する四半期純利益	75	114
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,479	9,433

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	4,554	9,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,772	5,281
繰延ヘッジ損益	104	56
為替換算調整勘定	268	411
退職給付に係る調整額	△4	△53
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	73
その他の包括利益合計	7,129	5,770
四半期包括利益	11,684	15,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,597	15,197
非支配株主に係る四半期包括利益	86	120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	2,375百万円	2,561百万円
のれんの償却額	47	47

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	31,466	55,528	86,995	11,384	98,380	—	98,380
その他の収益	—	11	11	239	250	—	250
外部顧客への売上高	31,466	55,540	87,006	11,624	98,631	—	98,631
セグメント間の内部売上高又は振替高	689	266	955	851	1,806	△1,806	—
計	32,155	55,806	87,962	12,475	100,438	△1,806	98,631
セグメント利益	2,199	2,765	4,965	489	5,455	△7	5,447

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	30,623	58,798	89,422	12,293	101,715	—	101,715
その他の収益	—	11	11	242	253	—	253
外部顧客への売上高	30,623	58,810	89,434	12,535	101,969	—	101,969
セグメント間の内部売上高又は振替高	643	329	973	858	1,831	△1,831	—
計	31,267	59,139	90,407	13,393	103,800	△1,831	101,969
セグメント利益	2,314	2,209	4,524	601	5,126	5	5,132

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、外食、不動産賃貸等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（子会社の設立）

当社は、2024年7月23日開催の取締役会において、ベトナム社会主義共和国に子会社を設立することを決議いたしました。

詳細は、2024年7月23日公表の「ベトナム社会主義共和国への子会社設立に関するお知らせ」をご参照ください。